

コスモス ニュースレター EMC & 安全

Cosmos Newsletter on EMC & Safety

発行日 2022-05-01

No. 141



株式会社 コスモス・コーポレイション Cosmos Corporation
〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718 番地-1

<https://www.safetyweb.co.jp/>

記事の配列は、概ね、国際規格を最初におき、米、欧、オセアニア、アジアの順です。

コスモス ニュースレター EMC & 安全 目次

エグゼクティブサマリー Executive Summary	2
総務省: IEC: 規格解説: CISPR 会議の結果について 電波利用環境委員会資料公布(2/2)	3
IEC: 新規格リスト	7
ISO: 新規格リスト	8
UNECE: 車両規制調和世界フォーラム 185 回会合(2021 年 11 月 23-25 日)報告書(3/3)	10
UNECE: 新国連規制 No.164 は、スタッズ付きタイヤの識別と雪の性能を調和させる	12
国際テーマ: 5G の現状と航空安全	13
国際テーマ: スウェーデンの TCO Certified によるスマートフォン初の TCO9.0 認証授与	14
国際テーマ: ウクライナでの戦争: 電気製品の貿易にも戦争の影響	14
国際テーマ: インドがテレコム機器強制認証の拡大を延期	15
国際テーマ: サウジアラビア情報: 新しい WLAN 規制、並びに RoHS 規制	15
国際テーマ: コスモス・ニュースから各国認証関連情報を再掲	16
USA: FCC: パート 15 サブパート H: 「ホワイトスペース規則」による機器の証明手順	17
USA: FCC: KDB: モバイルデバイス並びにポータブルデバイスに対する RF 曝露要求	17
USA: FCC: ファクトシート-受信機のイミュニティの改善による電波の効率的利用	19
USA: FDA: 医療機器のサイバーセキュリティ: ガイダンス案が公開、利用可能に	20
USA: DOE: 省エネプログラム: 最近の連邦官報による通知	21
USA: ANSI/UL: 新規格リスト	22
USA: IEEE: 新規格リスト	23
カナダ: IC: 無線標準仕様 RSS-119 修正 1、RSS-HAC Issue 第 2 版発行	24
EU: EMC 指令、機械指令: 整合規格リストの修正	26
EU: CENELEC: 新規格リスト	27
EU: ETSI: 新規格リスト	29
中国: SAMR: 低電圧スイッチ及びコンセント・プラグ製品の品質に関する抜取検査報告	30
中国: CQC: 光通信ケーブル製品の認証開始に関する通知	30
中国: CQC: 産業用ロボット用フレキシブルケーブル製品の認証に関する通知	31
中国: CQC: 高原用低電圧開閉装置及び制御装置アセンブリの認証開始に関する通知	31
中国: CQC: 電力網により電力を供給する交流電動機の省エネ認証規則の改訂	32
中国: CQC: 家電グリーン製品の認証実施規則の改訂に関する通知	33
中国: 新規格リスト	33
台湾: 「商品検査不合格処理弁法」 第七条、第九条の改正予告	34
台湾: 「検査対象商品の事故報告と処理作業の手順」を改正し、即日施行する	34
台湾: 新規格リスト	35
韓国: 「電磁波適合性試験方法」一部改正(案) 行政予告実施	36
韓国: 電気通信事業用無線設備の技術基準の一部改正(案)に関する行政通知	36
韓国: 放送通信機材等の適合性評価に関する告示	37
韓国: 電気用品及び生活用品安全管理運用要領一部改正告示	38
総務省: 「6 GHz 帯無線 LAN の導入のための技術的条件」: 情報通信審議会からの答申	39
総務省: 「ローカル 5G 導入に関するガイドライン」の改定	40
経済産業省: 電気用品の技術上の基準を定める省令の解釈(整合規格の採用等)を改正	41
経済産業省: 日本産業規格(JIS)を制定・改正しました(2022 年 4 月分)	42
経済産業省: 中小企業の DX に役立つ「手引き」と「AI 導入ガイドブック」を取りまとめ	42
国土交通省: 自動車の燃費ランキングを公表します!	43
国土交通省: 自動車安全性能 2021 結果公表	43
国土交通省: 2050 年 CN の実現に向けて、建築物の省エネ化及び木材利用の促進	44
ちよつといっぷく~クイズコーナー EN 60335-1:2012 と一部のパート 2 規格の適用	16
コスモス・コーポレイション: 自動車部品の耐水試験についてのご案内	25
社長の独り言	45



総務省: IEC: 規格解説: CISPR 会議の結果について 電波利用環境委員会資料公表(2/2)

- 2021年度 CISPR 会議が、令和3年11月8日から19日までの間、Web会議により開催。我が国からは、総務省、各研究機関、各大学、各試験機関、各工業会等から28名が参加。
- CISPR 会議の結果について等が、電波利用環境委員会（第51回）に於いて、審議された（令和4年1月25日(火)～2月1日(火)）。配布資料が、公開されている。

UNECE: 車両規制調和世界フォーラム 185 回会合(2021年11月23-25日)報告書(3/3)

報告書 国連 ECE/TRANS/WP.29/1161 から

- C. 1998年協定の執行委員会 (AC.3)
- VI. 1998年協定の監視: 国連 GTR、およびその修正の国/地域法への転換に関する締約国の報告
123. AC.3 は、国連 GTR に関するグローバルレジストリの合意および候補の大要の状況が報告された (ECE/TRANS/WP.29/1073/Rev.31)。-----
- XVIII. 国連 GTR 候補大要にリストされるべき技術規制の検討、もしあれば
126. 日本の二輪車の耐久性運転施行手順を国連 GTR 候補大要にリストするという日本の要請が、検討と投票のために提出され、そして、2021年11月24日、可決された。
- XXII. 新国連 GTR 及び既存 GTR への修正の開発の進展
- F. UN GTR 第 13 号 (水素と燃料電池車両 (HFCV) - フェーズ 2)
151. アメリカ合衆国の代表者は、UN GTR No.13 へのフェーズ 2 の進行中の開発に関して IWG が行った最新の進捗状況について AC.3 を更新した。

USA: FCC: パート 15 サブパート H: 「ホワイトスペース規則」による機器の証明手順

- FCC パート 15 サブパート H 「ホワイトスペース規則」に基づいて運用される機器の証明手順は、変更が加えられた最新の別紙 416721 D01 ホワイトスペース試験手順 v04r01 に、記載されている。

USA: FCC: KDB: モバイルデバイス並びにポータブルデバイスに対する RF 曝露要求

- 47 CFR セクション 1.1307、2.1091、及び 2.1093 に、「モバイルデバイス並びにポータブルデバイスに対する RF 曝露及び機器認可要求事項」が記載されている。又、添付資料「447498 D04 RF 曝露に関する一般ガイダンス暫定版 v01」では、暫定的な手順によるガイダンスを提供している。詳細は以下の「447498 D04 RF 曝露に関する一般ガイダンス暫定版の注釈」を参照すること。

EU: EMC 指令、機械指令: 整合規格リストの修正

- 4月14日付けで EMC 指令と機械指令のそれぞれの整合規格を修正する委員会実施決定が公示された。電力量計、残留電流用遮断器(RCCB)関連規格、等。

総務省: 「6 GHz 帯無線 LAN の導入のための技術的条件」: 情報通信審議会からの答申

- 無線 LAN のより高速で安定した通信を実現するため、諸外国では、新たに 6 GHz 帯周波数の利用が進められている。「情報通信審議会 情報通信技術分科会の陸上無線通信委員会において、6 GHz 帯無線 LAN の導入のための技術的条件に関し、検討を行った結果を取りまとめた報告の内容」について情報通信技術分科会で審議が行われ、本日、情報通信審議会から一部答申を受けた。

社長の独り言

2022年4月22日

濱口 慶一

オミクロン株がまだまだ猛威を振るっており、一向に終息していきませんが皆様お変わりありませんか？弊社も全社員の協力で何とか社員の感染者ゼロを継続してきましたが、若年層のワクチン接種の遅れでしょうか、社員のご子息の感染での濃厚接触者扱いの社員が少し出るようになってきました。感染防止に一層力を入れ、社内でのクラスター発生だけは回避するようにこれからも取り組んでいきます。

読者の皆様や社員には少し耳の痛い話になりますが、最近は読書をされる方が非常に少なくなっていると聞きます。参加している寺島実郎氏の経営セミナーでいろいろなデータが公開されるのですが、その中でも給与所得者の学習への消費金額は年々少なくなっているというデータがありました。そのため、市販の書籍で内容のよい、弊社の業務に必要なものは会社で購入して支給していますが、どうも確実に読み込んで脳裏に焼き付けるところまで至っていないように最近感じます。大学の課題と同じように、感想文とその後の自分にどう活かすかについて取り組み計画を提出するよう、社員、幹部に義務づける必要があると考えています。

幸田亮一先生の“ドイツ工作機械工業の 20 世紀”に紹介されている、ゲオルク・シュレージンガー氏が遺した“**The Factory**”を最近入手したことを先月書きました。1冊はコスモス図書室に保管し、2冊目は濱口家の家宝として仏壇の引き出しにしまいました。また、ドイツ国立図書館には1ページごとにデジタル化され、一般に公開されていますので、興味のある方は一度ご覧ください。

(<https://portal.dnb.de/bookviewer/view/1228127808#page/n7/mode/2up>)

工場での生産をシステム化し、効率を上げて良い製品を作り出す、システム設計論として書かれ、1948年に出版された書籍です。著者のシュレージンガー氏は**The Factory**の原稿を書き上げた翌年の1949年に生涯を閉じています。この本に込めた思いは、以前に生涯残り少ない時間を割いてコスモスを指導してくださった住本守氏、高杉和徳氏の思いと共通するところがあるのではと漠然と考えていました。

そして幸田亮一先生から、シュレージンガー氏はユダヤ人でナチスの迫害を受け、世界の学者の働きかけでヒトラーより解放され、ポーランドを経てイギリスに渡り、工作機械の発展に名を残したと聞きました。その時、高杉氏に紹介していただいたユダヤ人のジョーク集に、“私は70年かけてやっとこのことに気づきました。人の人生は本来楽しいことだけで良い。そこに気が付くのに私は70年掛かったが、どうか若者はこの70年の上楽しい自分の人生を構築していきなさい。決して同じように70年かけてこれに気が付かないように”という文章があったのを思い出しました。倫理感に即した正しい判断と楽しい人生を生み出すには、それを創出できる確実なシステム作りが大切ですよと言っているように今感じています。この考えに基づいて修士論文をまとめていこうと決意しました。

大学を無事卒業できるように、今年は趣味の日本蜜蜂を休もうと思います。

- ニュースレターの内容

本誌は、**EMC、安全、及び省エネ (EMC, Safety and Energy Conservation)** 分野に係り、世界の主要機関/地域により実施されかつ電気電子製品デバイスに適合が求められている規格/法規制について、その関連情報を、お届けいたします。

重要情報を幅広く調査、収集、かつ、要約して掲載し、当該分野の最新情報、潮流をすばやく捉えることができるようにいたします。情報源を明示しますので、貴殿の関心により、更に深い調査が可能です。

本誌は各国への技術法規適合製品を試験 認証 開発 管理される部門の方にとり必読の内容です。

- 対象機関/地域: IEC 等国際機関、並びに、FCC, UL を含む米国、EU 及び UK, CENELEC, CEN を含む欧州、その他オセアニア、及び日本を含むアジアの各地域

- 情報源: カバー対象の機関、地域の Web site、或は情報サービス。又、ご協力のご同意を頂いた日本国内及び米国・欧州・中国・韓国・台湾などの当該分野権威者から提供された情報。

- 本誌購読のお申し込み方法

コスモス・コーポレーション CS 部 (カスタマーサービス部) まで Yamashita-jun@cosmos-corp.com
Tel 0598-30-5225 Fax 0598-30-5571

- 発行: 年間 11 回発行。各号 A4 版、40 ページ前後。

- 価格: 各号 2,000 円 (年間購読の場合 1 年 11,000 円)(消費税込)

- 本誌の内容案内、ご購入案内は、<https://www.safetyweb.co.jp/services/other/publication/>

本誌の記事が正確であるよう最大の努力を払っておりますが、間違いが含まれていることがあるかもしれません。本情報をご使用になられる場合はご自身でもう一度ご確認ください。

株式会社コスモス・コーポレーションは、下記 Web site の運営体からそれぞれ個別の条件の下、Web 情報の引用、転載につき許可を頂いております。翻訳転載された記事の著作権は原著作権者に属します。本誌掲載記事の無断転載を禁じます。本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。

国際機関	IEC: International Electro technical Commission	国際電気標準会議
米州	A2LA: American Association for Laboratory Accreditation	米国試験所認定協会
	ANSI: American National Standards Institute	米国規格協会
	FCC: Federal Communications Commission	連邦通信委員会
	IEEE: Institute of Electric and Electronics Engineers	米国電気電子学会
	CSA: Canadian Standards Association	カナダ規格協会
欧州	CENELEC: European Committee for Electro technical Standardization	欧州電気技術標準化委員会
	ECO: European Communications Office	欧州通信オフィス
	ETSI: European Telecommunications Standards Institute	欧州電気通信標準協会
	EU/EC: European Union/European Commission	欧州連合/欧州委員会
オセアニア	ACMA: Australian Communications and Media Authority	オーストラリア通信/メディア局
	NZ: New Zealand Government Radio Spectrum Management	ニュージーランド政府 RSM
アジア	BSMI: Bureau of Standards, Metrology & Inspection	台湾經濟部標準檢驗局
	CNS: Chinese National Standards Online Service	台湾中国国家規格検索システム
日本	METI: Ministry of Economy, Trade and Industry	経済産業省
	MIC: Ministry of Internal Affairs and Communications	総務省
	NPB: National Printing Bureau	独立行政法人国立印刷局
	VCCI: Voluntary Control Council for Interference	一般財団法人 VCCI 協会

Cosmos Corporation is granted the copyright authorization for the reproduction of the Web site information from the above listed organizations with the individual condition. Further use, modification, redistribution of the information on the Cosmos Newsletter on EMC & Safety is strictly prohibited.

コスモス ニュースレター EMC & 安全 (Cosmos Newsletter on EMC & Safety) 2022-05-01 (No. 141)

発行所: 株式会社コスモス・コーポレーション 本社・松阪事業所

住所: 〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718 番地 1

ホームページ: <https://www.safetyweb.co.jp/>

発行人: 濱口慶一

編集人: 倉品光雄

iNARTE 認定 Certified EMC Engineer (EMC-002315-NE)

© 2022 株式会社コスモス・コーポレーション Cosmos Corporation

本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。